

民友クラブ政務調査個人別報告書

1. 平成 29 年 11 月 9 日 (木)・10 日 (金) 沖縄県那覇市での研修会

【研修項目】『第 79 回：全国都市問題会議』への参加：～研修のテーマ：
ひとつがつなぐ都市の魅力と地域の創生戦略～ (新しい風をつかむまちづくり)

** 1 日目 **

【会 場】沖縄県那覇市：沖縄県立武道館

【主 催】全国市長会

公益財団法人：後藤・安田記念東京都市研究所

公益財団法人：日本都市センター那覇市

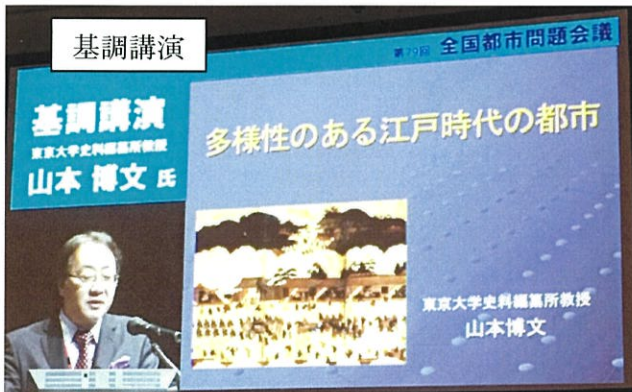
【協 賛】公益財団法人：全国市長会館

【基調講演】『多様性ある江戸時代の都市』について

【講 師】東京大学史料編集所教授：山本 博文 氏



開会式：主催者挨拶



基調講演

【主な内容】巨大都市と多様な町、江戸時代の特徴について講演されその特徴としてのコンセプトは、都市の巨大化と城下町・宿場町・港町など多様な町の発展があり、江戸・京都・大阪は『三都』と称されていた。その中で、江戸は徳川家の城下町であり、徳川幕府の所在地でもあり、全国の大名が藩邸を構え、参勤交代を行って、国元と江戸を往復していました。その参勤交代の制度は、街道を整備し、宿場(池鯉鮒宿のような)

な)を置き、公用人馬の提供を義務づけたが、毎年多くの大名が行き交うことで、城下町・宿場町・港町などが人の賑わいで栄えていた…徳川幕府の政が全国に繁栄を齎した！

【主報告】『ひとつがつなぐまち』について～新しい風をつかむまちづくり～

【講 師】沖縄県那覇市長：城間 幹子 様

【主な内容】那覇市の魅力(ひとつのつながり・文化と歴史・ユネスコ遺産等)を充分把握することにより、課題への取り組みを行い、観光客も地元市民も

楽しめるまちの創造に向けての施策を考え計画を策定し、賑わいづくりとインフラ整備を行い、現在のような、観光都市に向けて価値のあるものに創りあげられた…現在の観光滞在人口：8万人

【一般報告】1. 人口減少社会の実像と都市自治体の役割 2. 自然と都市が融合し共生が地域の価値を高めるまちづくり 3. 新しいステージに入った沖縄観光



城間 那覇市長

** 2 日目 **

【パネルディスカッション】

【テーマ】ひとつがつなぐ都市の魅力と地域創生戦略

【コーディネーター】早稲田大学理工学術院教授：後藤春彦

【パネリスト】1. 株式会社能作代表取締役：能作克治、2. まちひと感動のデザイン研究所代表：藤田とし子 他 3 名

【全国都市問題会議に参加して参考にするべき点】今回の会議で印象に残ったのは、山本教授の人を交流させることによる市町の発展と賑わいの創出。また、沖縄観光施策での滞在人口を増やすことが、市の経済力となるなど多くの事が学べた…当市も知恵をだすべし！

